

質問書に対する回答

(件名) 東北自動車道 利根川橋耐震補強工事

質問書No.	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書28-5 コンクリート T1-4	貸与の橋脚数量計算書3-4ページでは、充填コンクリートN1-1で計画されていますが、特記仕様書ではT1-4で計画されています。T1-4の配合は市販単価に見当たりません。8月3日頃に公表される材料等単価にT1-4単価は含まれていますか。ご教示願います。	入札公告（説明書）7-13に記載のとおり、閲覧資料に関する一切の質問には応じられません。
2	単価表 31 設計図 129ページ 断面修復	断面修復工については、特記仕様書に記載が有りません。共通仕様書17-9-3断面修復工が適用されると考えてよろしいでしょうか。この場合、左官方法での計画でしょうか。ご教示願います。	共通仕様書17-9-3が適用されます。共通仕様書17-9-3に記載のとおり、左官工法とお考えください。
3	特記仕様書28-12 設計図 75ページ コンクリート構造物取壊し TypeC1	コンクリート構造物取壊しTypeC1はコアボーリング工法による取壊しですが、設計図に削孔径φ150mmの記載があります。すべてコアボーリングで取り壊すと $31.5\text{m}^3 \div 0.018\text{m}^3/\text{m} = \text{削孔延長約}1,750\text{m}$ となりますが、計画されている削孔延長をご教示願います。	削孔については、上面部は取壊し範囲の鉛直方向の全周分、側面部は取壊し範囲の水平方向の全周分と考えております。
4	特記仕様書28-12 設計図 75ページ コンクリート構造物取壊し TypeC1	貸与の橋脚補強数量計算書3-17ページ1次はつり人力施工では、上面 $5.13\text{m}^3$ 、側面 $1.14\text{m}^3$ 、1橋脚 $6.27\text{m}^3 \times 5$ 橋脚 $=31.4\text{m}^3$ と計画されています。取壊しをコアボーリング工法と人力施工、別けて計画されていれば各数量をご教示願います。	コアボーリング工法による取壊しは $14.6\text{m}^3$ （外周）、人力施工による取壊しは $16.9\text{m}^3$ （内部）を想定しております。
5	特記仕様書28-26 参考図 28ページ 撤去工 仮設段差防止	既設仮設段差防止図（参考図）に記載のA1橋台3箇所、A2橋台3箇所、P4橋脚8箇所、合計14箇所を撤去し、河川内施工ヤードまで運搬する計画でしょうか。ご教示願います。	そのとおりにお考えください。
6	特記仕様書28-26 参考図 28ページ 撤去工 仮設段差防止	1箇所当りの重量について、数量総括表（その7）に記載の $5,038.2\text{kg}$ を14箇所を除いた約 $360\text{kg}/\text{箇所}$ と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	箇所毎に異なりますが、概ねそのとおりです。